

第1話 新しい空の下で

セリフ音声

(自宅の玄関)

玲子・翔一 いってらっしゃい

建志 いってきます

(リモートワークする玲子、リビング)

玲子 そうです。この通りに進めてもらったら。

そうか……大丈夫。じゃあ、それ私やっつくね。

(買い物帰りの玲子、街の階段)

玲子 ふう……。

(狭山湖畔)

地元の人 いい場所でしょ。

玲子 ああ、はい！

(夕飯の支度、リビング)

玲子 ねえ、明日の準備もしなさいよ～。

翔一 ……。(黙々と絵を描いている)

玲子 ねえ、翔一。この街たのしい？

翔一 うん！

玲子 そっか。

(帰宅する父親、リビング)

建志 ただいま。

翔一 あ！パパ！。

建志 ほら、お土産だぞ～。

翔一 え～、なに～？手袋～？

あはは、違うよ。グローブだよ、野球のグローブ。

入る？おお、入った。

玲子・建志 お～、かつこいいじゃん。

玲子 えい！（ボールを投げる真似）

玲子ナレーシ 東京より広くて大きな空。

不安だった気持ちが、上を向いた気がした。

タイトル

私たちは
東京で仕事を続けながら
埼玉に移住した。

第1話 新しい空の下で

念願だった移住だけど、
すべてが夢のようにはいかない。

1人になると、
まだ慣れない街に、
少し不安もある。

空なんて毎日見てたはずなのに、
その空は、東京の空とは違っていた。

NEW BEGINNING
in SAITAMA